

令和7年度公開臨海・臨湖・センター実習 実施計画書

実習タイトル	大学公開実習 C (古生物学・考古学・海洋生態学)		
<p>実習内容：文理融合型野外実習 (状況により予定が変更される場合がある。下記 Web Site などで確認する事)</p> <p>(1) 野外における地層の観察と化石採集 (古生物学) <ul style="list-style-type: none"> ・上天草に分布する古第三系 弥勒層群と上部白亜系御所浦層群の露頭において、地層中に含まれる堆積構造や化石を観察し、ハンマー等を用いて化石を採集する。 </p> <p>(2) 天草に分布する古墳群の観察 (考古学) <ul style="list-style-type: none"> ・古墳群の海上からの観察 ・実際に古墳の中に入り、古墳の構築法・使われている石材等を学ぶ。 </p> <p>(3) 現生の干潟での動物の観察 (海洋生態学) <ul style="list-style-type: none"> ・干潟に生息する、カニ、ヤドカリ、貝類、環形動物、カイアシ類などの行動観察や生態観察、巣穴等の観察を行う。 </p> <p>(4) 現生の潮間帯-潮下帯の動物の観察 (海洋生態学) <ul style="list-style-type: none"> ・岩礁飛沫帯から潮下帯に生息するシオダマリジンコや周辺海域に生息するミナミハンドウイルカなどの生態観察や生態・生理学的実習 ・潮間帯に生息する甲殻類、貝類、刺胞動物の生物間相互作用 (共生関係) について学ぶ </p> <p>※悪天候時には実習内容を変更する場合がある。</p>			
実習内容キーワード	文理融合, 白亜紀, 地層, 化石, 古墳, 沿岸生態系, 干潟, 共生		
担当教員氏名・所属・役職名	吉川晟弘・水循環センター・准教授, 嶋永元裕・水循環センター・教授, 田中源吾・水循環センター・准教授, 山田勝雅・水循環センター・准教授, 逸見泰久・水循環センター・特任教授		
協力教員氏名・所属・役職名	杉井 健・熊本大学文学部・教授		
対象学生・学年	学部 1~3 年生	開講期間	令和 8 年 2 月 27 日~3 月 5 日
開講大学・施設名	熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター 合津マリンステーション		
施設の住所	〒861-6102 熊本県上天草市松島町合津 6061		
電話	0969-56-0277	F a x	0969-56-3740
e-mail	publict-ams@kmm.kumamoto-u.ac.jp	Web Site	https://cwmd.kumamoto-u.ac.jp/marine/aizu_marine_station/
交通案内	熊本市内の熊本桜町バスターミナル, またはJR熊本駅前から, 天草(本渡)行きのバス(あまくさ号)に乗り「前島」下車. 徒歩 5 分. あまくさ号は 1 時間または 30 分間隔で運行. 熊本駅前から約 1 時間半. 空港からは, 桜町バスターミナルで乗り換える.		
費用	12,000 円程度(食費・宿泊費など. 残金は返却する)		
授業科目名	臨海実習 II		
単位数	2 単位	定員数	12 名
授業料の徴収について	公立・私立大学の学生で, 単位取得を希望する学生については, 授業料を徴収する.		